



れんけいと支援



富山市今泉北部町 2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2014年5月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

新年度の院長挨拶



富山市立富山市民病院長 石田 陽一

平成26年度は大きな変換点になりそうです。少子高齢化が進み団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けて医療と介護を一体として改革して行くという政府の方針で、当院のような高度急性期医療を担う病床を減らして回復期や一般急性期を担う病床に転換しようという方向性が打ち出されてきました。診療報酬改定で7対1病床の地域包括ケア病棟や回復期リハビリ病棟への転換の誘導、高度急性期から療養病床にいたるまでの在宅復帰機能の要求がなされ、医療計画では地域医療ビジョン策定に向けた病床機能報告など、これまでになかった変化が起こっています。

このような時には目先のことに囚われて方向性を見誤りがちであり、当院のミッション・ビジョンに立ち返ってみたいと思います。当院のミッションは、「私たちは医療を通して皆様の健康を守り、豊かな地域づくりに貢献します。」で、ビジョンは「地域医療のリーダー病院：①地域から最も信頼される病院②地域医療の質向上を牽引する病院③地域医療情報ネットワーク構築の中心的役割を担う病院になる」です。地域の医療・保健・介護の担い手、さらには住民と一緒に地域を住みよく豊かにすることを、ぶれずに目指して行くべきです。従って、当院は急性期病院としての機能を高めることを目指し、地域医療の質を向上する指導的役割を果たす必要があります。国の医療政策で機能分化と連携の推進が求められていることは、我々が以前から目指していた方向にまさに合致しています。

今年は院内での研修や外部との交流を通じて地域医療連携・地域包括ケアとその担い手について理解することから始めています。また、我々の提供している急性期医療を客観的に評価して改善点を見出して行きます。

当院が急性期医療と専門性の高い医療で地域に無くてはならない病院であるために、職員が一丸となって頑張っていきたいと思いますので、ご支援よろしくお願いたします。

Contents

新年度の院長挨拶	1
5月の地域連携・開放型病床症例検討会報告	2
研修・講演・勉強会のご案内	3
外来部門の紹介	4
医師不在のお知らせ	4
編集後記	4

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

日時：6月10日(火) 19:00～20:15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：「**早期糖尿病性腎症の進展におけるスタチンの腎保護効果について**」

内分泌内科 高櫻 明子

近年、高LDL-コレステロール血症が腎症の進展・増悪に関わることが報告されており、その一方でスタチンを始めとした薬物療法の腎保護効果に関するエビデンスが蓄積されつつある。今回、スタチンによる脂質管理が早期糖尿病性腎症の進展に及ぼす影響を検討すると共に、LDL-C値（或いは低下率）と腎障害の進展度の間に相関があるか否かを前向きに調査した。対象者は外来通院中の軽度～中等度の腎障害を合併した糖尿病患者の内、直

近の採血にてLDL-C値が2回連続して120～150mg/dlの範囲を示した者で、①食事療法群（43名）、②標準的治療群（28名）：食事療法+プラバスタチン10mg投与、③積極的治療群（35名）：食事療法+アトルバスタチン10mg投与の3群に分類し、採血、尿検査を施行した。その結果、アトルバスタチンを用いたより積極的な脂質管理が早期糖尿病性腎症の進展防止に有益である可能性が示唆された。

2) 症例検討 (2例)

① 『二重濾過血漿分離交換 (DFPP) を含む免疫抑制療法にて透析を

離脱しえた抗 GBM 抗体型急速進行性糸球体腎炎 (RPGN) の1例』

紹介医：古屋医院 古屋正人先生 腎臓内科 下村 修治

② 『当院における修正型電気けいれん療法 (m-ECT) の現状』

精神科 伊東 徹

予告

日時：7月8日(火) 19:00～20:15 場所：当院3階 講堂

① ミニレクチャー：母乳と薬 ～ママたちのお悩み解決のために～

小児科 岡部 真子

② 症例検討 産婦人科、呼吸器・血管外科の2例を予定しています。

2. 内科CPC

日時：6月10日(火) 17:30～18:30

場所：医局カンファレンス室

3. 医療機器研修会

日時：6月3日(火) 17:45～18:15

場所：集団指導室

○テーマ 「シリンジポンプ・小型シリンジポンプ (PCA機能含む) について」

○講師 臨床工学技士 島崎 哲弥

4. 糖尿病研究会定例学習会

日時：6月5日(木) 17:45～18:30

場所：集団指導室

○テーマ 「糖尿病とは～高齢者の糖尿病～」

○講師 内分泌内科医師 清水 暁子

5. 緩和医療委員会 学習会

日時：6月10日(火) 17:45～18:45

場所：地域医療研修センター

○テーマ 「テレビ会議システムを利用したがん看護事例検討会」

6. 感染予防対策学習会

日時：6月16日(月) 17:30～18:30

場所：講堂

○テーマ 「尿道留置カテーテル関連感染予防策について」

○講師 感染対策看護エキスパートナース 岡田しのぶ

7. NST学習会

日時：6月23日(月) 18:00～19:00

場所：講堂

○テーマ 「栄養指標の血液検査項目」

○講師 臨床検査技師 中村 政雄

8. 褥瘡対策学習会

日時：6月27日(金) 17:45～18:45

場所：集団指導室

○テーマ 「褥瘡のリスクアセスメントと看護」

○講師 皮膚・排泄ケア認定看護師 青木かずみ
看護師 宮田美智子

9. 接遇力向上研修会

日時：第1回 6月24日(火) 13:15～16:00

第2回 7月16日(水) 13:15～16:00

(第1回、第2回ともおなじ内容となっております。)

場所：講堂

○テーマ 「トラブルを未然に防ぐ接遇力と院内コミュニケーション」

○講師 置塩 良政 (富山市民病院接遇向上委員会委員長)

10. 看護研修

《第3回 看護研究研修会》

日時：6月20日(金) 13:30～14:30 (講義)

14:40～17:00 (演習)

(演習は都合により早く退席されることも可能です)

場所：講堂

内容：看護研究一質問紙の作り方、データ処理の仕方について

※ノートパソコンをご持参ください。

《第1回 看護助手研修》

日時：6月18日(水) 第1部 14:00～15:00

第2部 15:00～16:00

場所：講堂

内容：清拭・陰部洗浄・おむつ交換について (講義・実技)

※第1部・2部とも同じ内容でおこないます。

ご都合の良い時間でお申し込みください。

《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：6月4日(水) 17:40～18:40

場所：集団指導室

○テーマ 「モチベーションアップ! 看護の探求」

日時：6月18日(水) 17:40～18:40

場所：集団指導室

○テーマ 「医学的意味と倫理的判断」

《救急蘇生研修》

日時：7月4日(金) 13:30～17:15

場所：講堂

○テーマ 「救急時の適切な看護処置について (講義・実技)」

外 来 部 門

の紹介



今月は 健康管理科

健康管理科は医師1名、看護師4名、医療事務3名、保健予防医学担当専門官1名で各種健康診断、ワクチン接種、人間ドックを行っています。

当科では、一昨年より富山市内初となる、血液で胃がん・大腸がん、胆道がん、すい臓がんを検出する“マイクロアレイ検査”を開始しました。マイクロアレイ検査は、がんなどの異物に対する体の反応を遺伝子レベルで測定できる最新の技術です。わずか5mlの血液を採取するだけで、面倒な食事制限もありません。

また、人間ドックは、日帰りドックと一泊ドック（ホテル宿泊）の一般ドック、脳ドックや肺がんドックといった臓器別ドックから、PET/CT検査（PETセンター）を使った全身のがんを調べるPET/CTがんドックまでいろいろなコースがあります。

一つのドックだけで全ての異常を見つけることはできません。どんなドックを受けたいのか、どんな検査を受けたいのか、迷った時はお気軽にスタッフまでご相談ください。

予防は最大の治療です。一年に一回は健康診断を受けましょう。我々職員は、みなさまの健康を笑顔でサポートいたします。



医師不在のお知らせ ※外来担当日の休診のみ掲載

6 月分

科 名	不 在 日	医 師 名	科 名	不 在 日	医 師 名
内 科	20日	清 水	小 児 科	3日午後～6日	金 田
	18日	向 井	整形外科・関節再建外科	6日、27日	澤 口
	30日	下 村		27日	重 本
精 神 科	26日	長谷川雄介	泌 尿 器 科	20日	元 井
	26日、27日	伊 東	形 成 外 科	16日～18日	置 塩
外科・消化器外科・乳腺外科	12日、23日、26日	泉	脳 神 経 外 科	12日	宮 森
	19日	福 島	産 婦 人 科	6日	長谷川徹

※ その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

編集後記

先日、認知症による徘徊で行方不明になった人が年間およそ1万人もいることがテレビで取り上げられ、この番組をきっかけに7年間身元不明だった女性が夫と再会したことが話題になりました。入院中に認知症が進行する患者さんも多く、決して他人事ではない問題だと改めて感じました。

新年度になり「れんけいと支援」の表紙がオレンジ色になりました。オレンジ色は、認知症サポーターや認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)など認知症とも関係の深い色です。また、風水学的には「縁」を整えてくれる色だそうです。オレンジ色で結ばれる人と人の縁、当院と地域の皆さまとのつながりが、認知症高齢者や家族を支える大きな力となっていくことを願います。

ふれあい地域医療センター 仙石 佳代



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp